

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～25℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の75%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣——ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり38kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり158kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり757kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり104kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり151kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり478kgの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/30～11/4の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸～岩手県久慈～宮古沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延3隻、総計50箱、1航海最高25箱、平均16.7箱。スルメイカ1箱、ケンサキイカ（2～3立半）48箱、アオリイカ1箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-24号 令和7年度 第1回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>